

令和5年度英語表現Ⅰ シラバス (文系選択)

科目名	対象学年	単位数	履修
英語表現Ⅰ	3年(一般選択)	2単位	選択

使用教科書 : Revised Vision Quest English Expression I Standard (啓林館)

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。</p> <p>具体的な言語活動は次の通り。</p> <p>ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。</p> <p>イ 読み手や目的に応じて、簡潔に書く。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。</p>
副教材等	・ワークブック

2 評価の観点、評価規準、評価方法

評価の観点	評価対象
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ② 表現の能力：話すこと (S)、書くこと (W) ③ 理解の能力：聞くこと (L)、読むこと (R) ④ 言語や文化についての知識・理解	(a) 授業中の活動 (b) 発表 (c) 課題の提出 (d) 小テスト・定期考査

観点	箇所	評価規準	評価方法
①関心 意欲 態度	<ul style="list-style-type: none"> Model Conversation Exercises / Use it Expressing / Activity 	<ul style="list-style-type: none"> モデル会話に関心を持ち、聞き、発話しようとしている。 間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている。 積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 	(a) (c) A—B—C
②表現 の 能力	S <ul style="list-style-type: none"> Model Conversation Function Expressing / Activity Show & Tell 	<ul style="list-style-type: none"> モデル会話を英語らしい発音で発話することができる。 例文を英語らしい発音で発話することができる。 自分のことや与えられた課題について話すことができる。 紹介するトピックを決め、発表できる。 	(a) (b) A—B—C
	W <ul style="list-style-type: none"> Exercises / Use it Expressing / Activity Show & Tell Linking Words Paragraph 	<ul style="list-style-type: none"> 学んだ文法を使って、文章を書くことができる。 自分のことや与えられた課題について書くことができる。 紹介するトピックを決め、原稿を書くことができる。 つながぎの言葉を使って文章を書くことができる。 パラグラフの構成に基づいて文章を書くことができる。 	(a) (b) (c) (d) A—B—C
③理解 の 能力	L <ul style="list-style-type: none"> Listening Task Pronunciation Expressing / Activity 	<ul style="list-style-type: none"> モデル会話に関する英文を聞き、正しい解答を選べる。 発音に関する語句や英文を聞き、正しい解答を選べる。 パートナーの言ったことを、正しく聞き取れる。 	(a) (b) (c) A—B—C
	R <ul style="list-style-type: none"> Linking Words Paragraph 	<ul style="list-style-type: none"> つながぎの言葉の使い方を理解している。 パラグラフの構成を理解している。 	(a) (d) A—B—C
④知識 理解	<ul style="list-style-type: none"> Model Conversation Grammar Exercises 	<ul style="list-style-type: none"> いろんなトピックについて、内容を理解することができる。 それぞれのページで学んだ文法を理解している。 学習した文法を理解し、知識として定着している。 	(a) (c) (d) A—B—C

3. 検討の観点と教科書の内容

	検討の観点	教科書の内容
指導要領への対応	<ul style="list-style-type: none"> * 積極的に英語を使ってみようという意欲を育てる工夫がなされているか。 * 自己表現の機会が設けられているか。 * 「聞くこと・読むこと」と「話すこと・書くこと」が有機的につながる工夫がなされているか。 * 論理的思考を養う機会が与えられているか。 * 英語の音声的な特徴が学べるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Model Conversation が日本人高校生と外国人留学生による会話形式となっており、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各レッスンの Use it, Expressing, Activity で自己表現活動が行える。Show & Tell のページもある。 ○ Expressing や Activity において、他の人々の会話を聞き取ったり、生徒同士が英語を使ってやりとりを行ったりするなどの機会が設けられている。Model Conversation では Listening Task が設けられている。 ○ つなぎの言葉やパラグラフについて学ぶページが設けられている。 ○ 各レッスンの Pronunciation で発音全般について学習できる。
学習内容と分量	<ul style="list-style-type: none"> * 基礎力を養う配慮がなされているか。 * 文法学習についての配慮はなされているか。 * 文法以外にも、表現・語彙・発音などがバランスよく学べるよう配慮されているか。 * 分量は適切か。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学の復習から入って徐々に発展的なものへと配列されており、無理なく英語の基礎力を養える。巻末の Appendix では、品詞、動詞の活用、短縮形、名詞の複数形、数詞、国名、発音記号などをまとめて掲載しており、生徒が使いやすい。 ○ Grammar と Exercises では、文法の解説と十分な量の演習問題が確保されている。Model Conversation, Expressing, Activity も文法および表現を定着させる言語活動になっている。 ○ 各レッスンに Grammar, Function, Topic, Pronunciation の4つの要素が適切に配置されている。さまざまな話題に関して英文を読んだり活動をしたりしながら、文法だけでなく発音・語彙・表現を同時に学べる構成になっている。 ○ 基本のレッスンは12レッスンあり、Grammar の学習ページは26ある。1学年2単位で指導できるように配慮されている。
その他の工夫・配慮	<ul style="list-style-type: none"> * 視覚的に理解しやすく、生徒の興味を引く紙面構成になっているか。 * 日本語訳は掲載されているか。 * 問題形式は適切か。 * 段階を踏んで「文の作成から文章の作成へ」と進んでいけるよう配慮されているか。 * 自己表現活動に対する補助はなされているか。 * 指導書や周辺教材での工夫や配慮はなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真・イラスト・図などが適切に配置されており、視覚的にわかりやすく、興味を引く内容になっている。 ○ 英文の近くに日本語訳が掲載されている。 ○ Exercises の問題形式は並べかえ問題までで、適切である。 ○ Exercises で文の作成を行い、Use it で文章を書かせる構成になっている。Expressing では3つのステップが設けられており、生徒は取り組みやすい。つなぎの言葉やパラグラフの構成について学ぶページもある。 ○ Useful Words & Phrases では、自己表現活動に使える単語やフレーズが多数掲載されている。Use it では、解答例が示されており、生徒は取り組みやすい。 ○ 指導書や CD-ROM, ワークブック, 音声 CD などが用意されており、指導しやすい教科書である。
総合所見	<ul style="list-style-type: none"> * 上記の観点から見た、この教科書の全体的・総合的な評価。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導要領への対応、学習内容と分量、その他についても十分な配慮と工夫が見られる。指導時間数と生徒の現状に合わせた授業が無理なく進められる教科書である。